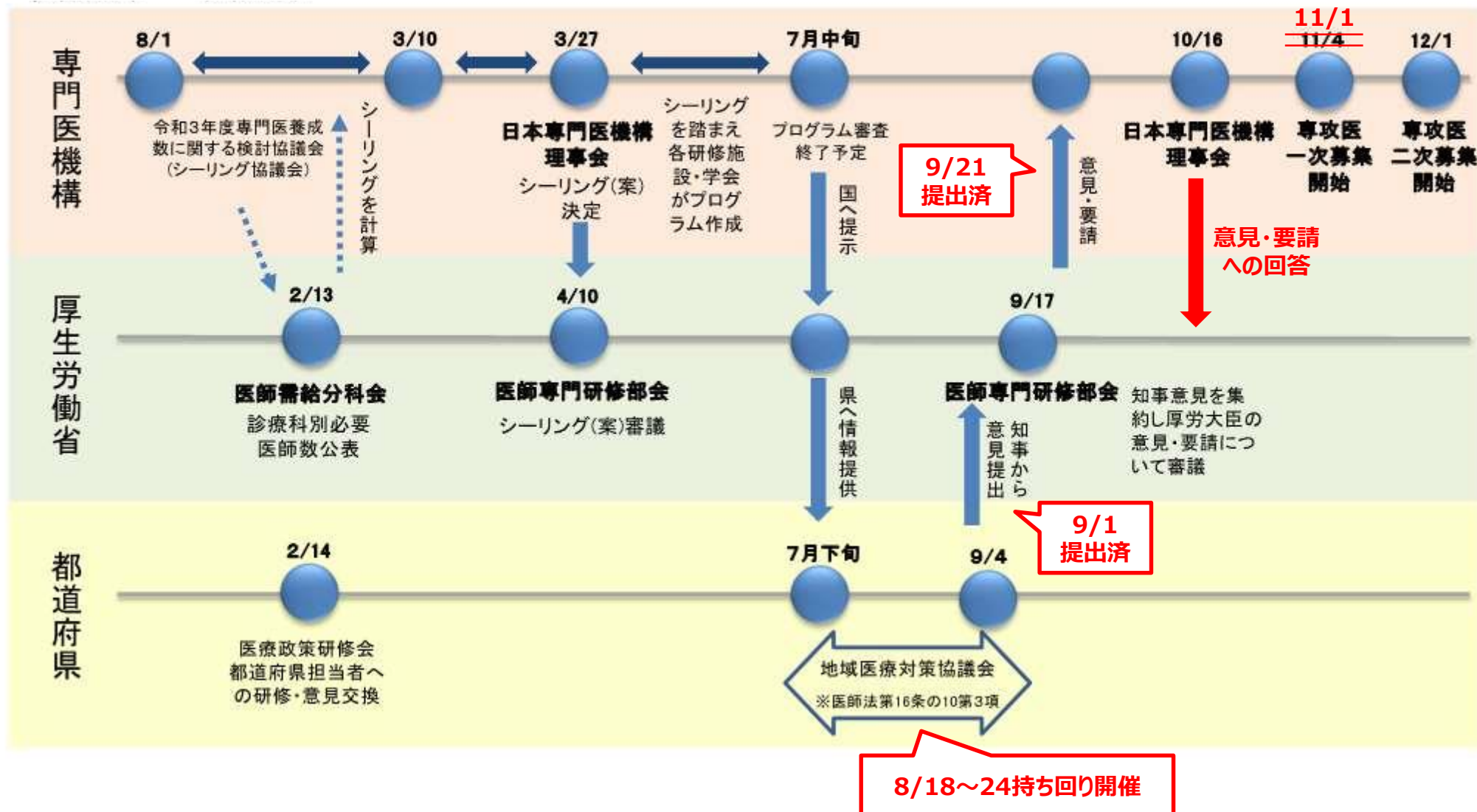


専門研修に関する和歌山県の意見の 反映状況等について

和歌山県福祉保健部健康局医務課

令和3年度専攻医募集のスケジュール

令和3年9月17日
医師専門研修部会資料 一部改変



今年度に提出した意見の反映状況等について

I 専門医制度全般に関する意見

1. 専門研修プログラム募集定員について

- ① 専攻医が著しく多い東京都とその他の地域のシーリングを区別して、それぞれの算定方法を見直し、地域医療に支障を来さないような仕組みとすること



【関連意見】

- 単年度のみ採用数が多く、平均的には採用数が少数である都道府県へ一定の配慮を行うため、過去3年の採用数の平均が5以下の都道府県別診療科はシーリングの対象外とすること。
(厚生労働大臣から日本専門医機構への意見及び要請1(1))
- 採用数の絶対数が少数である都道府県別診療科については、引き続き、採用数の年次変動が大きい点等を考慮したシーリングの設定を行うこと。
(厚生労働大臣から日本専門医機構への意見及び要請1(2))

- ② シーリングの根拠となる診療科別の必要医師数の算定にあたっては、病院勤務医と開業医とを厳密に区別すること

- ③ シーリングの根拠となる診療科別の必要医師数の算定にあたっては、医学の教育・研究を行う大学病院に所属する医師について一定配慮すること



【関連意見】

- 臨床研究医コースの専攻医は、シーリングの対象外となることから、今後の定員の設定にあたっては、地域医療提供体制への影響を考慮し、信頼性の高いデータに基づいて教育や研究を維持するための必要な医師数を検討し、その結果を審議会に報告すること。
(厚生労働大臣から日本専門医機構への意見及び要請1(4))

- ④ 必要医師数の算定根拠となっている「専門医制度における基本診療領域と疾病等との対応表」を公表するなど、具体的な計算方法の全容を明らかにすること

今年度に提出した意見の反映状況等について

1. 専門研修プログラム募集定員について（前頁のつづき）

- ⑤ 東京都への専攻医の集中を抑制できていない状態で募集された過去 3 年間の採用実績を、シーリング数の算定に使用しないこと



【関連意見】

- 令和 5 年度以降のシーリング数については、これまでのシーリングの効果や課題を検証した上で設定するとともに、専攻医の採用においてはシーリング数が厳守されるよう厳密な運用を行うこと。
- 令和 2 年度以降のシーリングによって医師多数県への専攻医集中がどの程度改善・解消されたかを詳細に検証し、令和 5 年度以降のシーリングの設定にあたっては、医師偏在解消に実効性が十分に上がるよう制度設計を行うこと。

（厚生労働大臣から日本専門医機構への意見及び要請 1 (2)）

2. 専門医制度の運用について

- ① 専門研修制度の変更等にあたっては、地方から提出された意見については最大限配慮するとともに、その反映状況について報告すること



【関連意見】

- 各制度の見直しに際しては、地域の実情を十分に踏まえ慎重に検討するとともに、必ず事前に都道府県で十分検討できる時間を設け、地方から提出された意見については最大限配慮すること。

（厚生労働大臣から日本専門医機構への意見及び要請 1 (6)）

Ⅲ 新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえた意見

- ① 新型コロナウイルス感染症が収束するまでは、専門研修プログラム募集定員のシーリングは中断するとともに、新型コロナウイルス感染症への対応で顕在化した課題を踏まえ、専門研修制度について必要な見直しを行うこと。